

## 補助事業概要の広報資料

補助事業番号 23-4-001

補助事業名 平成 23 年度（復興支援）被災者に対するカウンセリング、調査活動 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 子どもの権利条約総合研究所

### 1. 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

東日本大震災、原発事故に対する被災者支援・復興支援は多様な形で精力的に取り組まれていたが、被害の範囲および状況が甚大かつ広域、進行形であるために、子どもに特化した支援を講じにくかった。当事者である子ども達にとっては素直に気持ちを表せる場や意見を述べる事が出来る安心・安全な居場所が確保されていなかったり、遊びや学びの保障も十分にされていない状況にあった。子どもと子育て家庭の被害実態や必要とされている支援についても十分には把握されていなかった。この事業は、直接の被災の有無に関わらず、子どもたちが意見表明・発信することで癒され、自分がたくさんの人々に大切にされていることを感じ、子どもには大人を動かす力があることを実感でき、子どもがエンパワーされることを目的にしている。



#### (2) 実施内容



①子どもが周囲の状況や自分の考え、感情、提案等を、メールを使って発信できる仕組みを作り、「子どもの目・子どもの声」という名前を付けた。②子どもたちから寄せられたメッセージは、東日本大震災子ども支援ネットワークのホームページ内に作ったコーナーに掲載し、誰でもどこからでも読むことができるようにした。③子どもたちが安心して発信できるようにするために、子どもたちの居場所や活動場所に支援者を派遣し、寄り添いながら子どもたちの発信を支援した。④少しでも多くの方に「子どもの目・子どもの声」を読んでもらうため、イベント等で展示や配布をおこなった。

### 2. 予想される事業実施効果

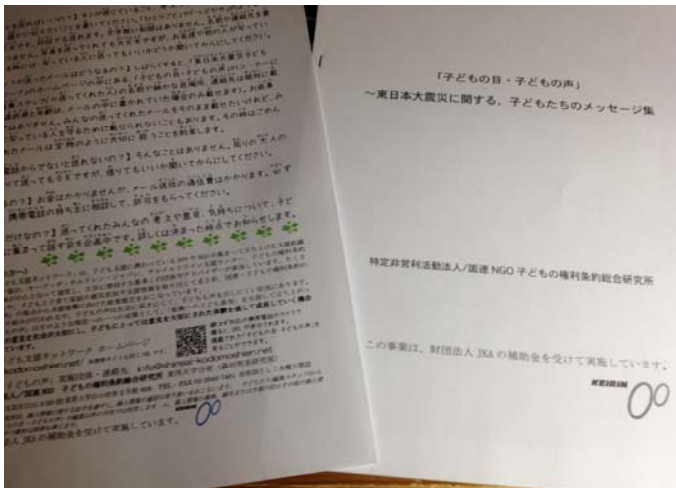
- ・ 「子どもの目・子どもの声」として約 160 件のメッセージを集めることができた。
- ・ 協力してくれた子どもたちは、「自分の意見が言えてよかった」「自分だけじゃないと思った」「みんなの意見が聞けてよかった」「少しでも多くの人に伝わるといいな」等の感想を寄せてくれたことから、自分から発信したことによって自信を付けたり、力をもらったりする機会を作ることができたと考えている。

- ・ 子どもだけでなく、多くの大人が「子どもの目・子どもの声」を読み、心がうたれたという感想を寄せてくれた。
- ・ これらのことから、子どもたちが癒され、エンパワーされたと同時に、子どもたちの意見や気持ちを社会に届けることができたと考えている。
- ・ 一人でも多くの方に「子どもの目・子どもの声」を読んでもらうため、今後も事業を継続していく。



### 3. 本事業により作成した印刷物等

- ・ 「子どもの目・子どもの声」編集スタッフ募集チラシ
- ・ 「子どもの目・子どもの声」一覧 展示用
- ・ 「子どもの目・子どもの声」一覧 配布用



### 4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人 コドモノケンリジョウヤクソウゴウケンキュウジョ 子どもの権利条約総合研究所

住所： （早稲田分室）

〒162-0052 東京都新宿区戸山 1-24-1 早稲田大学文学学術院 33 号館 1576 号室

代表者： 理事長 キタアキト 喜多明人

担当部署： 事務局

電話番号・FAX： 03-3203-4355 （原則として毎週水曜日 10:30～16:00）

メール： [npo\\_crc@nifty.com](mailto:npo_crc@nifty.com)

URL： [http://homepage2.nifty.com/npo\\_crc/index.html](http://homepage2.nifty.com/npo_crc/index.html)